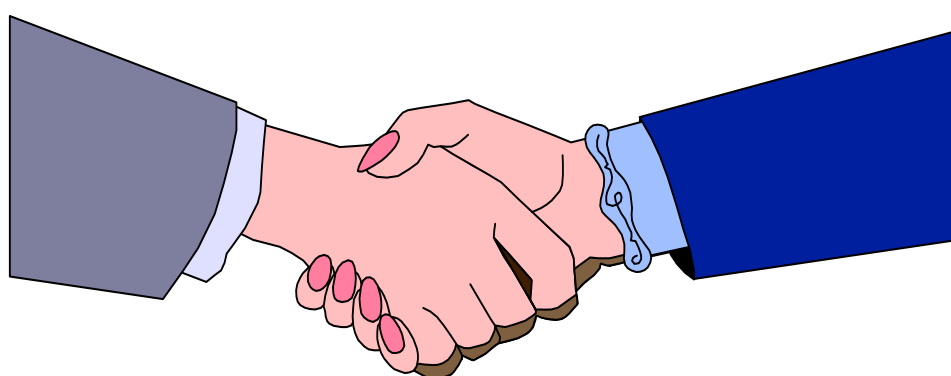


クリーナー & くもり止め Q&A 集



1. クリーナー編

Q: クリーナーって何ですか？

A: レンズには皮脂や雑菌などの目に見えない汚れが、気がつかないうちに付着します。その汚れを取り除き快適な視生活をおくるために、クリーナーで毎日のレンズケアをお勧めします。

Q: クリーナーは何故きれいになるのですか？

A: クリーナー液が、レンズに付着した指紋・油脂汚れ・雑菌を包み込みスッパリきれいに落とします。



Q: パールのクリーナーは、洗浄効果以外にどのような効果があるのですか？

A: パールのクリーナーの主成分は、洗浄効果の他に除菌・帯電防止効果（静電気を防ぎホコリや雑菌の再付着を防ぐ効果）があります。

又、クリーナーの成分は植物のヤシ油から出来ている商品もあり、洗浄効果も高く自然界での分解もされ易いので、環境にも優しくできています。

Q: 効果は、どのくらい持続するの？

A: メガネの使用状況にもよりますが、目に優しく使うためには汚れが気になった都度ご使用する事を薦めます。

Q: 超撥水コートレンズにも使用できますか？

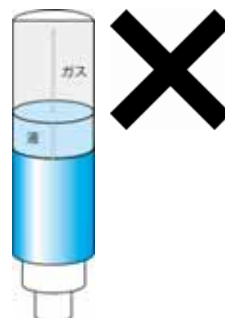
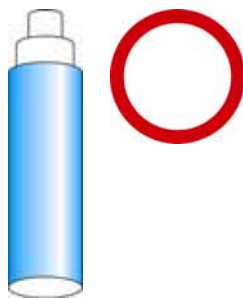
A: パールのムース状になるタイプを使用しますと、液が垂れる事ありませんので、超撥水コートレンズにも使用できます。

Q: クリーナーの液が残っているのに出なくなりました。

A: エアゾールタイプのクリーナーは、液を噴霧する為にガスが入っています。

その為よく振らずに使用したり、缶を横向きや逆さ向きに使用しますとガスだけが先に抜けてしまいクリーナーの液だけが残ってしまいます。

お使いになる前によく振ってから、スプレー部分を上にして、ご使用ください。



Q:1本でどの位使用できますか？

A:プラクリーンは、レンズ2枚表裏両面で1回4プッシュ使用しますので、約90回使用できます。

Q:クリーナーに使用期限はありますか？

A:徐々に酸化してきますが、密栓状態であれば、約3年間は使用できます。

しかし多少なりとも劣化しておりますので、お早めに使い切ってください。

Q:ムースタイプのクリーナーがムースにならなかったのですが？

A:長期間使用しないとガスと液体が分離してしまいますので、そのまま使用しますとガスが混ざらずにムース状になりません。使用時には、毎回よく振ってからご使用ください。

Q:クリーナーとトラベルレンズペーパーの違いはなんですか？

A:レンズをきれいにする為の効果の違いはありません。トラベルレンズペーパーは、クリーニング液がペーパーについておりますので、携帯性に優れ場所を選ばず、どこでも簡単にお使いなれます。

Q:使用上の注意はありますか？

A:レンズクリーナーと銘打っておりますが、眼鏡用ですので、コンタクトレンズや水中ゴーグルには使用できません。又鏡面加工されているレンズにつきましてもメーカーの技術差が大きくクリーナーを使用しますと剥離してしまう可能性がありますので、使用しない方が安全と思われれます。

火気の近くでのご使用・保管はおやめください。又、幼児の手の届かない所に保管してください。

Q:コンタクトレンズや水中メガネ・水中ゴーグルには、なぜ使用できないのですか？

A:コンタクトレンズや水中メガネ・水中ゴーグルに使用しますと、コーティングされた洗浄成分が水に溶け、眼を刺激します。

Q:くもり止め加工したレンズには、使えないと聞きましたが...？

A:くもり止め加工されたレンズの表面は、レンズ面に付着した水蒸気が水滴にならないように表面が多孔質（無数の細かい穴のあいた構造）になっております。

その中に液が入り込みレンズ白化の原因となり、くもり止め効果も薄くなってしまいます。その為くもり止め加工されたレンズには使用しないでください。

Q:くもり止め加工されたレンズに使用してしまったらどうしたらよいのですか？

A:くもり止め加工されているレンズに使用してしまった場合、十分に水洗いをしてください。その後、極細繊維のメガネクロス等で残っているくもり止めコートを手で綺麗に落としてください。

きれいにした後、くもり止めを使用してくもり止めコートをする事をお勧めします。

Q:100円ショップ等で売っているクリーナーとの違いはなんですか？

A1:使用しているアルコール類の違い

安価なクリーナーにはイソプロピルアルコール（IPA）と言う成分が含まれています。IPAは、若干ではありますが光反応にて、ケトンという成分に変質してしまいます。除光液に使用されているアセトンの仲間。強い刺激臭があります。ケトン類は、アクリル等合成樹脂を溶かしてしてしまいますので、メガネで使用している合成樹脂（セルフレームや鼻パット等）に悪影響を及ぼす可能性があります。パール cleaner は、IPA を使用していません。エタノールを使用しておりますのでIPAよりも毒性が低く、ケトン類に変化しませんので、安心・安全です。

A2:洗浄成分の違い

安価なクリーナーで使用している洗浄成分は、安価な界面活性剤を使用している為拭いた後、レンズに付着します洗浄成分の透明性が悪く、はっきりと見え難くなってしまふ事があります。（実測値で、透過率が98.6～98.7%）

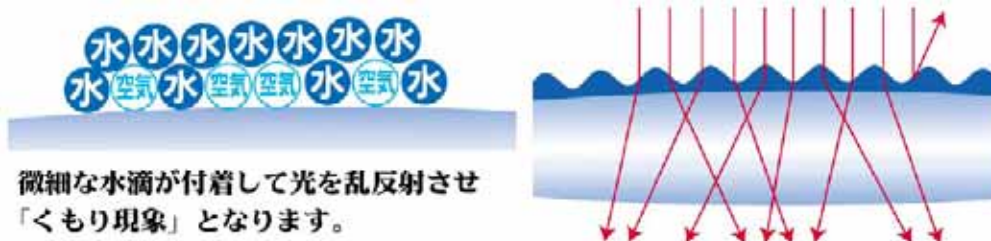
パール cleaner で使用している界面活性剤は、植物性原料からできているものもあり、レンズにも手肌にも優しく、自然環境にも優しい設計になっています。

当然、レンズに付着します洗浄成分の透明性が良く、見え難くなる事はありません。

2. くもり止め編

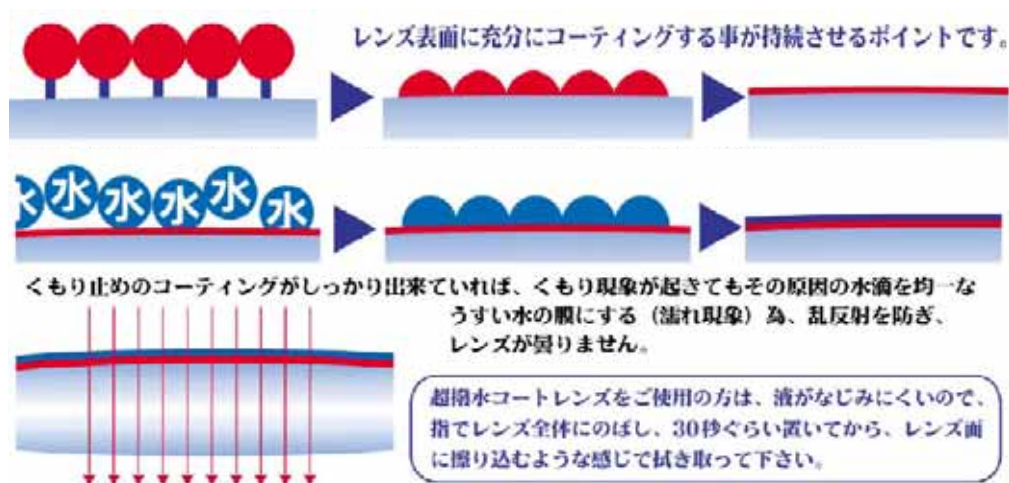
Q: レンズは何故くもるのでしょうか？

A: 冬の寒い時期、外出先から暖かい室内に入った時など、レンズにくもりが発生することがあります。これは、レンズの温度が、室内の温度よりも低い為に空気の中に含まれている水分が、空気を取込み細かい水滴と共にレンズ表面に着きます。この時、細かい水滴と空気に光が乱反射をして、くもり現象となります。



Q: レンズにくもり止めを使用すると何故くもらないのですか？

A: くもり止めの成分は、レンズをくもらせる原因の空気と水滴両方に作用します。空気を追出し付着した水分を水滴ではなく膜にしてしまいます。その為に光が乱反射しなくなり、くもらなくなります。



Q: くもり止めの成分は？

A: くもり止めにはくもり現象を生じさせない成分として、水になじみやすい性質と油になじみやすい性質を両方とも持っている石鹼と同じような構造の物質を使用しています。その他にふき取り作業性を向上させる成分を含んでおります。

Q: くもり止めの効果は？

A: 温泉やお風呂など湯気がたくさん出ているような場所では、短くなりますが、一般的な使用方法であれば、長くて5日程度は持続します。

Q: くもり止めの使用上の注意点

A: くもり止めは、吹き付けた後、かるく広げ、液が乾いてからやわらかい布やティッシュなどで拭き上げます。又、拭き上げる際には極細繊維のメガネクロスは使用しないことなどが注意点です。

なぜなら、極細繊維のメガネクロスは拭き取り性能が高いため、コーティングされているくもり止め成分も取り除いてしまいます。

Q:超撥水加工されたレンズでも使用できますか？

A:超撥水加工されたレンズでは、液がレンズ面に均一に定着し難いので、やわらかい布やティッシュで全体に延ばすようにして、ご使用ください。

Q:クリーナーとの併用は？

A:クリーナーでレンズをきれいにしてから、くもり止めを使用しますと効果が高くなります。これは、きれいな表面ではくもり止め成分が、より定着しやすくなり持続性が高くなる為です。更にホコリ等の再付着を防ぐなど、クリーナーとしての効果も高くなります。

Q:使用できないレンズはありますか？

A:レンズに鏡面加工されているものやくもり止め加工されているもの、水中ゴーグル、コンタクトレンズには使用できません。水中ゴーグル使用しますとコーティングされたくもり止め成分が、水に溶けて眼を刺激します。コンタクトレンズも同様です。鏡面加工されているレンズにつきましては、加工業者の技術差が大きく、くもり止めを使用しますと剥離してしまう可能性がありますので使用しない方が安全と思われま

Q:私が使っているメガネ(花粉ゴーグル)は、くもり止め加工してあるのですが、一部分のみくもってしまいます。

A:くもり止め加工も使用しているうちに時間がたち劣化してしまいます。

その為一部分もしくは全体的にくもってしまいますので、くもり止めをお使いになることをお勧めします。

使い方としましては、くもり止めを通常よりも多めに使用して厚めに塗り込みます。

つまり、くもり止め剤にて表面を均一化する事で、くもり止め効果が取り戻せます。

Q:花粉ゴーグルには、使えますか？

A:花粉ゴーグルの多くは、くもり止め加工されていますが、マスクをした時にくもらないようにする為に、内側だけがくもり止め加工されています。

その為、外側はくもってしまいますので、くもり止めを外側に使用する事で快適な視界が約束されます。

Q:くもり止めは目に優しいの？

A:安心・安全な材料を使用しておりますし、視界の良いレンズは使用した際に疲労感や不快感を与えませんので、目にも心にも優しいです。

Q:1本でどの位使用できますか？

A:Cジェットでは、約60回使用できます。(レンズ2枚表裏両面で1回4プッシュ使用)

Q:ペースト状のくもり止めとは、効果に違いはあるのですか？

A:くもり止め効果に差はありません。しかし、外国産による不安感や1回の使用量が多く容量が少ないのでコスト高になると思います。

更にペーストにする成分が乾燥すると白くなってしまうため、細かい傷の隙間に入り込み白い傷が入ったように見えてしまいます。

携帯には便利ですが、カバン等に入れておくと圧力が掛り、容器がつぶれて液漏れになる可能性が高いと思われま

3. トラベルレンズペーパーについて

Q:トラベルレンズペーパーの成分はどのような効果があるのですか？

A:レンズの指紋・脂汚れを軽く拭くだけでスッキリ落とせます。

主成分は、洗浄効果の他に除菌・帯電防止効果（静電気を防ぎホコリや雑菌の再付着を防ぐ効果）があります。

又、クリーナーの成分は植物のヤシ油から出来ているので、洗浄効果も高く自然界での分解性も高いので、環境にも優しくできています。

Q:クリーナーとどこが違うの？

A:トラベルレンズペーパーは、1枚ずつ個別包装されたウエットティッシュタイプなので、携帯に便利です。

外出時やご旅行の際の携帯用クリーナーとしてお勧めください。

Q:くもり止め加工したレンズには、使えないと聞きましたが...？

A:くもり止め加工されたレンズの表面は、くもり止め成分を練り込んであるので、表面が多孔質（無数の細かい穴のあいた構造）になっております。

その中に液が入り込みレンズ白化の原因となり、くもり止め効果も薄くなってしまいます。その為くもり止め加工されたレンズには使用しないでください。

Q:くもり止め加工されたレンズに使用してしまったらどうしたらよいのですか？

A:くもり止め加工されているレンズに使用してしまった場合、十分に水洗いをしてください。その後、トラベルレンズペーパーで残っているくもり止めコートをきれいに落としてください。

きれいにした後、くもり止めを使用してくもり止めコートをする事をお勧めします。

Q:ミラーコーティングされたレンズには使えないと聞きましたが...？

A:ミラー加工する技術が製造業者に差がある為、クリーナーを使用した場合剥離してしまう可能性があります。その為、ミラーコートレンズにも使用しない方が安全と思われます。

Q:その他に使用できない加工レンズはありますか？

A:プラスチックレンズ・マルチコートレンズ・水やけ防止コートレンズ・撥水コートレンズ等のレンズ加工品では、問題なく使用できます。

ただし、コンタクトレンズや水中ゴーグル等には使用できません。

Q:コンタクトレンズ・水中ゴーグルには、何故使用できないのですか？

A:コンタクトレンズ・水中ゴーグルに使用しますとレンズ面にコーティングされた成分が水に溶けだし、眼を刺激します。

Q:使用期限はあるのですか？

A:1枚ずつ個別包装された状態であれば、約3年程度は使用できます。

ただし、開封したものや、破れたり、穴が開いた物ですとクリーニング液が蒸発して使えなくなりますので、すぐにお使いください。

Q:特に気を付ける事はありますか？

A:火気の近くでの使用、高温になる場所や幼児の手の届く場所での保管はおやめください。
コンタクトレンズや水中ゴーグル・くもり止めやミラーコーティング加工されたゴーグルやレンズには、使用できません。

又、メガネレンズ用ですので、べっ甲や宝石類のフレームへの使用は避けてください。
これは、トラベルレンズペーパーは、その性質上、すぐに乾燥しなくてはならない為にアルコール成分が通常のクリーナーより多く含まれています。

べっ甲や宝石類（貴金属）は薬品に対してあまり強く無いものも多く、変色してしまう可能性がありますので、ご使用は避けた方が安全です。

Q:「外出先でも簡単・安全」との事ですが、何故、簡単・安全なのですか？

A:簡単編

速乾性のウエットタイプですので、2度拭きは必要ありません。

1枚ずつ個別包装されていますので、携帯性にも優れています。

A:安全編

他社の製品や安価な商品では、イソプロピルアルコール（IPA）を使用している事が多く、安全面に不安があります。

IPAは、若干ではありますが光と反応して、ケトンという成分に変質してしまいます。

除光液に使用されているアセトンの仲間：強い刺激臭があります。

ケトン類は、アクリル等合成樹脂を溶解してしまいますので、メガネで使用している合成樹脂に悪影響を及ぼす可能性を秘めています。

パールのクリーナーは、IPAを使用していません。エタノールを使用しておりますので、毒性が低く、ケトン類に変化しませんので、安心・安全です。